

お客様はディーラーから車ではなく
「安全な移動という価値」を買っている。
松本 祐一 多摩大学総合研究所 教授・副所長

特集

2

平成29年「自販連会員総合調査」結果概要
全車種店総合、乗用車店、軽四主力店で
増収増益



レポート

12

■全国各地の自動車博物館を訪ねて■
第3回 日本自動車博物館
“ぜひ見てほしい! この車”

14

FIAモビリティ・コンファレンスを終えて
一般社団法人 日本自動車連盟 国際課 担当部長 日野 真吾

16

交通安全ポスター原画コンテストの表彰式・会員研修会の開催

17

■教育財団レポート■
Vol.2 自動車技術教育支援事業
公益財団法人 日本自動車教育振興財団 専務理事 上橋 義弘

インフォメーション

18

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様
ナンバープレート交付開始
～大会開催機運の盛り上げに向け～

20

自販連ニュース

自由席

24

ジャカルタで暮らしたこと
国土交通省自動車局 整備課 課長 平井 隆志

支部だより

26

福島県、埼玉県、新潟県、大阪府、岡山県、山口県、長崎県

連載

33 This Month

34 読者のひろば

36 記者倶楽部 第116回
時事通信社 磯部 敦子
「あおり運転」に要注意

37 ヘルス 第82回
東京大学医学部附属病院 医師 岸 暁子
インフルエンザ ～今年は早めに対策を～

38 御社の営業力を向上させるポイント 116
(株)グランド・デザインズ 代表取締役 藤本 篤志
営業現場に横行するミス、ミス、ミス①

40 スタッフの眩き

平成29年「自販連会員総合調査」 結果概要

全車種店総合、乗用車店、軽四主力店で増収増益

調査概要

自販連はこのほど、平成29年「自販連会員総合調査(平成28年4月～同29年3月)」結果を取りまとめた。本調査結果は、「損益状況」と「部門別概況」及び「アンケート」に大別されるが、そのうち本号では「損益状況」と「部門別概況」について報告する。(10頁の「組織体制」は「会員状況」の一部を掲載)

なお、大型車店のうち、メーカーの販売部門であるUDトラックス(株)及び三菱ふそうトラック・バス(株)の地域販売部門(11営業拠点)は調査対象外としている。

集計社数は、特に注記のない限り「損益計算書」「貸借対照表」の前年、当年と

図表① 対象企業数と集計企業数

	対象 企業数	集計 企業数	集計率 (%)
総 合	1,176 社	1,006 社	85.5
大型車店	79 社	75 社	94.9
乗用車店計	1,097 社	931 社	84.9
乗用車店	—	600 社	—
軽四主力店	—	266 社	—
輸入車店	124 社	65 社	52.4

「人員(期末・期中平均)」を回答していた会員とし、また、報告データが異常値と見られデータ修正ができなかった会員は、今回の集計対象から除いている。

なお、車種店区分の定義として、「軽四主力店」は新車売上台数のうち軽自動車の上台数が50%以上の会員とし、「乗用車店」は同台数が50%未満の会員としている。

—【図表②】全車種店総合1社平均—
経常利益の大幅増で「増収増益」に

全車種店総合の1社当たりの状況は、総売上高が136億27万円と前年度比5・0%のプラスとなった。

部門別でも全ての部門で増加した。

売上利益額は22億6032万円と、前年度よりも約1億1457万円増加し、前年度比4・3%増となった。一方、売上高利益率は16・6%と、前年度を0・1ポイント下回った。また、経常利益額は4億4051万円と同20・6%もの増加を示した。集計企業数は前年度比で33社減少したものの経常利益ベースで黒字となった利益企業数は、前年度比10社増の957社となった。

図表③ 大型車店 1社平均と利益企業 1社平均の比較

(単位：千円)		平成 28 年度 (75 社)	前年度比 (%)	利益企業 (75 社)	前年度比 (%)
売上高	新 車	13,957,550	114.0	←	
	中 古 車	939,152	102.2	←	
	(車両部門計)	14,896,701	113.2	←	
	サービス・部品	6,085,613	104.3	←	
	その他	255,552	92.8	←	
	計	21,237,866	110.2	←	
売上利益	新 車	-619,621	—	←	
	中 古 車	142,491	97.0	←	
	(車両部門計)	-477,131	—	←	
	サービス・部品	2,189,389	104.2	←	
	その他	93,627	97.2	←	
計	1,805,885	94.1	←		
収入手数料	販売諸費用収入	77,304	112.7	←	
	保険手数料	55,410	99.9	←	
	割賦・Cr 手数料	7,943	99.9	←	
	車両手数料	319,258	145.5	←	
	その他手数料	391,255	124.0	←	
	計	851,171	127.6	←	
営業費	販 売 費	170,719	90.7	←	
	人 件 費	1,743,235	104.7	←	
	一般管理費	699,615	105.1	←	
	▲サービス原価計上人件費	416,246	104.8	←	
	計	2,197,323	103.6	←	
営業利益	459,734	99.1	←		
営業外損益	営業外収益	53,008	103.7	←	
	(内収入利息)	4,713	94.3	←	
	営業外費用	22,765	93.0	←	
	(内支払利息)	7,408	83.5	←	
経常利益	489,976	99.9	←		
特別損益	-14,840	—	←		
税引前当期純利益	475,136	104.7	←		

図表② 全車種店総合 1社平均

(単位：千円)		平成 28 年度 (1,006 社)	平成 27 年度 注)(1,039 社)	前年度比 (%)
売上高	新 車	8,985,986	8,437,546	106.5
	中 古 車	1,780,305	1,778,526	100.1
	(車両部門計)	10,766,291	10,214,697	105.4
	サービス・部品	2,649,839	2,560,231	103.5
	その他	184,137	179,997	102.3
	計	13,600,267	12,952,635	105.0
売上利益	新 車	796,533	774,085	102.9
	中 古 車	312,642	316,760	98.7
	(車両部門計)	1,109,176	1,090,635	101.7
	サービス・部品	1,123,973	1,049,461	107.1
	その他	27,174	27,147	100.1
	計	2,260,322	2,167,135	104.3
収入手数料	販売諸費用収入	173,243	168,524	102.8
	保険手数料	173,546	167,193	103.8
	割賦・Cr 手数料	122,344	114,447	106.9
	車両手数料	103,682	96,628	107.3
	その他手数料	109,262	93,307	117.1
	計	682,077	639,847	106.6
営業費	販 売 費	576,098	558,776	103.1
	人 件 費	1,693,593	1,639,490	103.3
	一般管理費	731,001	723,047	101.1
	▲サービス原価計上人件費	475,803	456,625	104.2
	計	2,524,888	2,463,305	102.5
営業利益	417,511	344,197	121.3	
営業外損益	営業外収益	71,632	71,134	100.7
	(内収入利息)	13,254	13,735	96.5
	営業外費用	48,630	50,031	97.2
	(内支払利息)	18,765	21,372	87.8
経常利益	440,513	365,268	120.6	
特別損益	-22,451	-16,857	—	
税引前当期純利益	418,063	348,386	120.0	

総売上高は、全部門が前年度比増を示

「図表④」乗用車店 1社平均
全部門の売上増で「増収増益」に

「図表③」大型車店 1社平均
新車赤字が増幅し「増収減益」に

2020年に開催予定の東京オリンピック・パラリンピックなどに関連した建設需要などにより、新車販売台数でプラス基調が続く大型車店の売上高は、前年度比10・2%増を示し、「その他」を除く全ての部門で前年を上回った。

一方、売上利益額では「新車」の赤字額が前年よりも大幅に増加した上、「中古車」、「その他」部門の利益額の減少により、全体では前年度比5・9%減の18億589万円となった。

「図表②」全車種店総合 1社平均
新車赤字が増幅し「増収減益」に

その他の、1社平均の収入手数料は前年度比6・6%増の6億8208万円、営業費は同2・5%増の25億2489万円、営業利益額は同21・3%増の4億1751万円、税引前当期純利益額は同20・0%増の4億1806万円となった。

※注：図表②の平成27年度数値は同28年度数値からの逆算参考値。

図表⑤ 軽四主力店 1社平均と利益企業 1社平均の比較

(単位：千円)		平成 28 年度 (266 社)	前年度比 (%)	利益企業 (249 社)	前年度比 (%)
売上高	新 車	5,627,213	105.4	5,965,956	105.5
	中古車	1,229,483	88.2	1,303,623	88.1
	(車両部門計)	6,856,696	101.8	7,269,579	101.9
	サービス・部品	1,483,345	98.3	1,566,050	98.4
	その他	59,079	102.0	62,375	101.9
	計	8,399,120	101.2	8,898,004	101.2
売上利益	新 車	548,798	106.4	582,626	106.6
	中古車	245,079	106.2	259,887	106.4
	(車両部門計)	793,877	106.3	842,513	106.5
	サービス・部品	712,481	105.0	751,797	105.0
	その他	11,710	100.8	12,375	100.4
計	1,518,068	105.6	1,606,686	105.7	
収入手数料	販売諸費用収入	127,874	99.6	135,375	99.6
	保険手数料	70,893	104.0	74,699	104.0
	割賦・Cr 手数料	31,478	104.9	33,526	107.3
	車両手数料	91,011	107.3	96,045	107.3
	その他手数料	61,294	91.1	65,335	91.1
	計	382,550	101.0	404,980	101.0
営業費	販 売 費	317,545	97.5	337,448	97.6
	人 件 費	1,020,679	102.1	1,077,923	102.2
	一般管理費	518,058	95.3	545,752	95.1
	▲サービス原価計上人件費	191,801	102.1	203,317	102.5
	計	1,664,482	99.0	1,757,806	99.0
営業利益	236,135	175.4	253,859	175.9	
営業外損益	営業外収益	47,731	95.7	50,381	95.5
	(内収入利息)	1,952	77.2	2,071	77.7
	営業外費用	33,880	90.8	35,855	90.7
	(内支払利息)	18,555	95.8	19,565	95.8
	経常利益	249,987	169.8	268,385	170.4
特別損益	-1,719	—	-2,499	—	
税引前当期純利益	248,267	184.3	265,937	184.5	

図表④ 乗用車店 1社平均と利益企業 1社平均の比較

(単位：千円)		平成 28 年度 (600 社)	前年度比 (%)	利益企業 (582 社)	前年度比 (%)
売上高	新 車	10,581,920	105.7	10,792,953	105.7
	中古車	2,216,438	102.9	2,253,179	103.0
	(車両部門計)	12,798,359	105.2	13,046,132	105.2
	サービス・部品	2,951,149	104.5	3,006,921	104.6
	その他	235,680	104.0	238,471	104.0
	計	15,985,188	105.0	16,291,523	105.1
売上利益	新 車	1,154,239	104.2	1,176,885	104.2
	中古車	387,911	97.0	394,492	97.1
	(車両部門計)	1,542,150	102.3	1,571,377	102.3
	サービス・部品	1,266,322	108.2	1,289,795	108.3
	その他	25,689	100.9	25,643	100.6
計	2,834,161	104.8	2,886,815	104.9	
収入手数料	販売諸費用収入	215,898	103.9	220,625	104.0
	保険手数料	249,522	103.8	254,983	103.8
	割賦・Cr 手数料	190,131	107.1	192,223	107.2
	車両手数料	74,469	93.0	75,959	93.0
	その他手数料	103,092	123.6	106,325	125.6
	計	833,112	105.6	850,114	105.8
営業費	販 売 費	790,846	104.6	805,056	104.3
	人 件 費	2,126,218	103.4	2,163,771	103.5
	一般管理費	871,695	102.0	886,285	102.1
	▲サービス原価計上人件費	652,465	104.3	667,200	104.3
	計	3,136,293	103.1	3,187,912	103.1
営業利益	530,981	117.5	549,018	118.2	
営業外損益	営業外収益	89,109	101.2	91,257	101.3
	(内収入利息)	20,541	97.7	21,121	97.6
	営業外費用	61,607	99.1	62,848	99.4
	(内支払利息)	20,919	85.0	21,081	85.0
	経常利益	558,483	116.9	577,427	117.5
特別損益	-34,643	—	-35,422	—	
税引前当期純利益	523,840	113.8	542,004	114.4	

続きは本誌を^①参照ください

—【図表⑥】輸入車店 1社平均—
売上は伸びるも減益を示す

上回り、「増収増益」となった。

さらに、営業費は1・0%減少して、営業利益は75・4%増と大幅増を示した。経常利益も69・8%増と前年度を大幅に上回り、「増収増益」となった。

売上高は新車販売の回復に伴い、前年度比1・2%増の83億9912万円となった。売上利益は全部門で増加し、合計では同5・6%増の15億1807万円を示した。

—【図表⑤】軽四主力店 1社平均—
新車販売の回復に伴い大幅な増益に

また、利益企業のみで見ると、営業利益と経常利益はそれぞれ18・2%、17・5%の増加を示した。

した結果、前年度比5・0%増の159億8519万円となった。部門別の売上利益額は、「中古車」部門の同3・0%減を除き増加を示し、全体では前年度を4・8%上回る結果となった。営業利益は前年度比17・5%増の5億3098万円と大幅に増加し、経常利益も同16・9%増の5億5848万円を示した。